



みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!

本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

横浜市立本郷小学校
学校学年便り1月号
令和5年1月10日



ぞう山から臨む美しい新春の学び舎

迎春

今年もポジティブシンキング

校長 山崎 浩一郎

2023年は、元旦より穏やかなお天気にも恵まれ、例年より少し長い冬休みを子どもたちもそれぞれ楽しく過ごしたのではないかと思います。

皆様、新年明けましておめでとうございます。どうぞ、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

例年通り2日3日は、箱根駅伝を観ていました。今年も多くのドラマがありました。私の住んでいる平戸は、東海道まで歩いて5分の所なので毎年のように応援に行きますが、あつという間に駆け抜けていく選手の背中を追いながら、どのチームにも「頑張れ」と心で応援していました。駅伝は団体競技ではありますが、任された区間は、たった一人で走り抜かなくてはなりません。そして、次の仲間へ襷を確実に繋げるという使命もあり、大きなプレッシャーの中、ひたすら逃げる、前を追うという過酷なスポーツです。この日に向けて一年間、努力してきても当日のコンディション如何では、思うように力が発揮されないことだってあることでしょう。勝負事ですから、結果が全て、こうすればよかった、こうすべきだったと評論する方もいますが、私は、血のにじむような日々の努力をしてきた選手と、出場できなかったけれど、それを支えた控えの選手、監督以下スタッフにも拍手を贈りたいと思います。

優勝した駒澤大学はもちろん素晴らしいのですが、そうでなかったチームにも選手一人ひとりに、目標へ向かう物語があり、本人にしか分からない想いはあります。応援者の一人としてその過程の努力を称えたいと思います。

本郷小学校の皆さん。ある目標に向かう過程では、楽しさや喜びを感じる時もあるれば、苦しさや悔しさを味わうこともあります。心が折れそうになったり、諦めそうになったりすることもあるでしょう。「もうだめだ、どうせやったって」というネガティブな感情が心を支配してしまいそうになるそんな時は、「結果は結果、その時の運だから悔やんでも意味がない」「その目標を決めたのは自分、苦しさも楽しさのうち、簡単に達成できたら、そっちの方がつまらない」「よし、これは潔く諦めて、次の目標を立てよう」などと考えることもありだと思ひます。大事にしたいことは、『ポジティブシンキング』です。貫き通すのもよし、下方修正するもひとつの方法です。ネガティブに物事を考えて生きるより、「どうにかなるさ」とポジティブにいきましょう。兎年、調子のよいときは、ぴよんぴよん跳び跳ねましょう。